

安全データシート

版番号 8.1
改訂日 06.06.2021
印刷日 10.06.2021

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 製品識別名

製品名 : スペクトロクアント® 塩素用試薬 CI2-2(液体)
Spectroquant®

カタログ番号 : 1.00087

製品番号 : 100087

ブランド : Millipore

1.2 他の特定手段

データなし

1.3 推奨用途及び使用上の制限

特定用途 : 分析用試薬

1.4 安全データシート作成者の詳細

会社名 : Sigma-Aldrich Japan G.K.
1-8-1 Arco Tower, Shimomeguro, Meguro-ku
TOKYO 153-8927
JAPAN
東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー
担当部門 : ライフサイエンス
レギュラトリーアフェアーズ

電話番号 : +81 (03) 6758-3625

FAX : +81 (03) 6756-8300

1.5 緊急連絡電話番号

緊急連絡先TEL : +81 (0)3 4520 9637 (CHEMTREC)

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

金属腐食性化学品 (区分1), H290

皮膚腐食性 / 刺激性 (区分2), H315

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分2), H319

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H290

金属腐食のおそれ。

H315

皮膚刺激。

H319

強い眼刺激。

注意書き

安全対策

P234

他の容器に移し替えないこと。

P264

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P280

保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置

P302 + P352

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P305 + P351 + P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P332 + P313

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

P337 + P313

眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

P390

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

保管

P406

耐腐食性 / 耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。

2.3 他の危険有害性 - なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分

化学名	分類	含有量
-----	----	-----

硫酸			
CAS番号	7664-93-9	Met. Corr. 1; 1A; 1; H290,	>= 5 - < 10 %
EC番号	231-639-5	H314, H318	
化審法官報公示番号	1-430	濃度限界:	
安衛法官報公示番号	-	>= 0.3 %: Met. Corr. 1, H290; >= 15 %: Skin Corr. 1A, H314; 5 - < 15 %: Skin Irrit. 2, H315; 5 - < 15 %: Eye Irrit. 2, H319;	
硫酸N,N-ジエチル-1,4-フェニレンジアンモニウム			
CAS番号	6283-63-2	Acute Tox. 4; H302	>= 1 - < 10 %
EC番号	228-500-6		
化審法官報公示番号	-		
安衛法官報公示番号	-		

このセクションで言及されたH-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

5.2 特有の危険有害性

不可燃性である。

火災により発生するおそれ:

硫黄酸化物, 酸化窒素

周辺の火災で有害な蒸気を放出することがある。

5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える (除去する)。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと
個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemisorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管条件

密閉のこと。

推奨された保管温度、製品のラベルを参照してください。

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

化学名	CAS番号	Value	管理濃度	出典
硫酸	7664-93-9	OEL-C	1 mg/m ³	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度
硫酸	7664-93-9	TWA	0.2 mg/m ³	米国。ACGIH限界閾値 (TLV)

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

汚した衣類は脱いで水に浸けること。皮膚の予防処置 本物質を扱った後は手と顔を洗うこと。

保護具

眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) またはEN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシート、に記載されている製品およびその指定の使用法のみ
に適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、
CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:
www.kcl.de)

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質：KCL 741 Dermatril® L

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ
適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、
CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:
www.kcl.de)

飛沫への接触

材質：ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質：KCL 741 Dermatril® L

身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お
よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基礎物理および化学特性の情報

- | | |
|----------------------|-----------------|
| a) 外観 | 形状: 液体
色: 無色 |
| b) 臭い | 無臭 |
| c) 臭いのしきい(閾)値 | 非該当 |
| d) pH | at 20 °C
強酸性 |
| e) 融点 / 凝固点 | データなし |
| f) 沸点, 初留点及び沸騰
範囲 | データなし |
| g) 引火点 | 非該当 |

h) 蒸発速度	データなし
i) 可燃性 (固体、気体)	データなし
j) 引火上限/下限または爆発限界	データなし
k) 蒸気圧	データなし
l) 蒸気密度	データなし
m) 比重	データなし
n) 水溶性	at 20 °C 可溶
o) n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし
p) 自然発火温度	非該当
q) 分解温度	データなし
r) 粘度	動粘度 (動粘性率) : データなし 粘度(粘性率): データなし
s) 爆発特性	データなし
t) 酸化特性	データなし

9.2 その他の安全情報

データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

腐食作用あり

10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

10.3 危険有害反応可能性

次と激しく反応:

アルカリ金属

アルカリ化合物

アンモニア

塩基

酸類

金属

アルカリ土類金属

アルカリ土類化合物

金属合金

次と激しく反応:

一般的に水と反応することが知られている。

10.4 避けるべき条件

情報なし

10.5 混触危険物質

動物/植物細胞金属との反応で水素が発生する。金属

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

混合物

急性毒性

急性毒性推定値: 経口 - > 2,000 mg/kg

(計算による方法)

症状: 口腔、咽頭、食道、消化管の粘膜の刺激。

症状: おそれのある症状:, 粘膜の炎症

経皮: データなし

皮膚腐食性 / 刺激性

混ぜると皮膚に刺激を生じる。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

混合すると眼への重度の炎症を生じる。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

その他の危険な特徴を除外してはならない。

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

成分

硫酸

急性毒性

LD50 経口 - ラット - オスおよびメス - 2,140 mg/kg

備考: (ECHA)

吸入: 呼吸器腐食性物質。

経皮: データなし

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 組織を極度に腐食し破壊する。

備考: (IUCLID)

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: Salmonella typhimurium

結果: 陰性

備考: (HSDB)

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

硫酸N,N-ジエチル-1,4-フェニレンジアンモニウム

急性毒性

LD50 経口 - ラット - 497 mg/kg

吸入: データなし

経皮: データなし

皮膚腐食性 / 刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 軽度の眼刺激 - 24 h

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

混合物

データなし

12.2 残留性・分解性

データなし

12.3 生体蓄積性

データなし

12.4 土壤中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

12.6 他の有害影響

pHの変化により有害な作用。

希釈型であっても注意すること。

生物学的酸素欠乏をひきおこさない。

土壌や水系に多量に入った場合は、飲用水を危険にさらす。

廃水処理プラントで中和可能

環境への放出は必ず避けなければならない。

成分

硫酸

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	止水式試験 EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - > 100 mg/l - 48 h (OECD 試験ガイドライン 202)
藻類に対する毒性	止水式試験 ErC50 - Desmodesmus subspicatus (緑藻) - > 100 mg/l - 72 h (OECD 試験ガイドライン 201)

硫酸N,N-ジエチル-1,4-フェニレンジアンモニウム

データなし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 3316 IMDG (海上規制): 3316 IATA-DGR (航空規制): 3316

14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): CHEMICAL KIT
IMDG (海上規制): CHEMICAL KIT
IATA-DGR (航空規制): Chemical kit

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 9 IMDG (海上規制): 9 IATA-DGR (航空規制): 9

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): II IMDG (海上規制): II IATA-DGR (航空規制): II

14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): 非該当
IATA-DGR (航空規制): 非該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

動物/植物細胞金属との反応で水素が発生する。金属

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法: 危険物に該当しない。

毒物及び劇物取締法: 非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防 第三類物質 - 硫酸

規則:

有機溶剤中毒予防規 非該当

則:

名称等を表示すべき危 法第57条 (施行令第18条) - 硫酸

険物及び有害物:

名称等を通知すべき危 法第57条の2 (施行令別表第9) - 硫酸

険物及び有害物:

化学物質排出把握管理 非該当

促進法:

16. その他の情報

セクション 2 および 3 において言及された H-ステートメントの全文。

H290	金属腐食のおそれ。
H302	飲み込むと有害。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H315	皮膚刺激。
H318	重篤な眼の損傷。
H319	強い眼刺激。

詳細情報

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

Copyright 2020 Sigma-Aldrich Co. LLC. により、社内限定使用以外の本書の複写を禁じています。弊社ブランド移行期のため、この文書のヘッダーやフッターのブランド名はご購入製品のブランド名と合わない場合があります。しかし、文書中の製品に関する情報は変わらず、ご注文の製品に合致します。詳細は、こちらまでお問合せください。mlsbranding@sial.com.